



西宮だより

発行 杉並区立西宮中学校
平成 30 年度 7 月号 (2018)

<http://www.suginami-school.ed.jp/nishimiyachu/>

《教育目標》

- ◇心 豊かな 人
 - ◇自ら学ぶ 人
 - ◇健 康な 人
- 『自主自立』の精神

「ノーサイド」

副校長 渡邊 泰祐

♪ 『…何をゴールに決めて 何を犠牲にしたの 誰も知らず
歓声よりも長く 興奮よりも速く 走ろうとしていたあなたを 少しでもわかりたいから…』

「ノーサイド」と聞くと、私と同じくらいの世代なら、この歌のメロディーが思い浮かぶ方も多いのではないかでしょうか。’80年代にヒットしたこの曲は、シンガーソングライターの松任谷由実さんが、高校ラグビーを題材に歌い上げたものです。この歌の流行のおかげで、ラグビーというスポーツのことによく知らなくても、ノーサイドという言葉は知っているという人が世に多く出現したことを記憶しています。

ノーサイドとは、ラグビーにおける試合終了を意味します。ご存知ラグビーは、この歌の美しさや穏やかさとは正反対に、最も激しく、時に危険さえ伴うこともあるスポーツの一つです。スパイクで顔を蹴り上げられることも恐れず勇敢にタックルし、タックルされ、決死の覚悟で楕円球を奪い合います。モール状態（密集戦）になれば、身体の大きな選手たちが次々と折り重なり、泥まみれ、汗まみれの大きな人山となります。昔は試合中、激しいぶつかり合いの末に気を失ってしまった選手のところへ、チームマネージャーが大きなやかんを持って駆け付け、水を頭からジャーッとかけるシーンを目にしたものです。

そんな過酷な戦いが終わった瞬間がノーサイド。ホイッスルと共に敵・味方の区別がなくなります。“試合が終われば、勝者の側（サイド）も敗者の側もなくなり、プレーする仲間同志、互いの健闘をたたえ合う”といった、ラグビーの崇高な精神を象徴する言葉です。明治30年代に発祥の英国からラグビーが日本に伝来するとともに、試合終了を告げるホイッスルの精神は守られ、今日まで受け継がれています。

ところがこのノーサイドという言葉は、現在、海外のラグビーの試合では使われておらず、発祥の英国でさえもフルタイムと呼んでいるそうです。それではなぜ、海外ではノーサイドがフルタイムに置き替わったにもかかわらず、日本にだけノーサイドが根付き、この精神が守られてきたのでしょうか。

その理由の一つは、和を尊び、思いやりや感謝、寛容の心をもつことなど、日本人ならではの道徳的なメンタリティと、この精神が合致しているからかもしれません。また、『西宮祭 体育大会』開会式での選手宣誓にもあったように、フェアプレーを尊重し、対戦相手を尊敬し称え、同じスポーツをする仲間としての意識、いわゆるスポーツマンシップを大切にする日本の風土の中で、ノーサイドの精神が育まれてきたことも、想像に難くありません。さらに、これは“礼に始まり礼に終わる”武道の精神にも通じるものがあり、日本におけるその広がりは、ラグビーに留まりません。

しかし昨今、国際大会の舞台で、対戦相手を打ち負かしたとたんに大きな雄叫びや大げさなアクションをする日本選手や、プロ野球で空振り三振に打ち取ると、すかさず派手なガッツポーズをするピッチャーなどを目にすることができます。ピンチを乗り切って自ら勝利を得た時ならまだしも、それが相手のミスによるものだった場合、こうした動作が相手の目にはどう映るでしょうか。私はこのようなシーンを見たびに、日本に根付いているフェアプレーの精神はどこへ行ってしまったのかと、嘆いてしまいます。

6月2日（土）、梅雨入り間近の天候不順な日が続く中でしたが、当日は澄み渡った青空のもと『西宮祭 体育大会』が盛大に開催されました。かつての代々木の陸上競技場から本校校庭での実施となって3年目となります。当日は、283家庭、576名（生徒数比182.9%）という多数の保護者やご家族の皆様、そして、約50名のご来賓の皆様にご来校いただき、今年度も生徒たちへ温かい声援とお励ましをいただきました。改めまして、御礼申し上げます。

地域やご家族の皆様に見守られ、生徒の皆さんは、“頂点を目指せ！～最高の自分になるために～”のスローガンを胸に、それぞれの競技に全力で取り組みました。また、仲間の応援のみならず、対戦相手である他のクラスの頑張りに拍手を送るシーンも多くみられ、まさにスポーツマンシップに則った清々しい姿でした。きっと、体育大会が閉幕した瞬間、“最高の自分になれた”皆さんの心の中には、美しい「ノーサイド」のホイッスルが高鳴ったことでしょう。もし、その境地には至らず、完全燃焼しきれなかった人がいるならば、体育大会一日の取組を、今一度振り返っておきましょう。

次なる行事は『西宮祭 音楽会』。今度は目に見えない“美しさ”を、合唱コンクールという形で競い合います。スポーツの勝ち・負けとは異なりますが、競い合う相手を称え、敬う気持ちをもちつつ、自分たちの演奏に全力を尽くすところは、スポーツマンシップと同じです。10月20日（土）、感動の「ノーサイド」を期待しています。

6月の主な行事等 PICK UP !

『西宮祭 体育大会』6/2(土)【本校校庭にて開催】

予行の日も小雨が降るなど、不安定な天候が続きましたが、体育大会当日は晴天に恵まれました。今年の体育大会は“頂点を目指せ！～最高の自分になるために～”というスローガンのもと、全力で競技に挑みました。競技に参加している生徒はもちろん、係の担当の人たちもグラウンドを駆け回る姿が印象的でした。一人ひとりが最高の自分になったことで、体育大会を成功させることができました。

開会式



選手宣誓



ラジオ体操



ハードル走



走り高跳び



100m走



女子1000m



男子1500m



男子200m



二人三脚



ハリケーン



大縄跳び



3年全員リレー



昼食



部活動リレー



1年全員リレー



PTA 競技



2年全員リレー



大むかで



選抜リレー



閉会式



部活動も大活躍！～6月の大会結果～

○男子バスケットボール部

杉並区選手権大会 ベスト8！

○女子バスケットボール部

杉並区選手権大会 ベスト4！

○野球部

杉並区選手権大会 第3位！

○将棋部

文部科学大臣杯 8位入賞！

今大会をもって引退
した3年生も多いこ
とでしょう。本当に
お疲れ様でした！

2学年 理科出前授業『化学変化』

6月12日(火)、13日(水)、理科出前授業が行われました。現在学習している単元の『化学変化』について、普段の授業ではなかなか行うことのできない実験等を通して、より学びを深めることができました。

生徒たちはとても意欲的に授業に取り組み、時には実験結果に歓声や驚きの声があがる場面も見られました。

2学期は3学年の『天体』、3学期は1学年の『化学変化』で出前授業を行う予定です。どうぞお楽しみに！



『全員参加』の授業で、
2時間があっという間に
感じられました。



共育(ともいく)支援本部

杉並区の小中学校全校には「学校支援本部」という組織が設置されており、学校・家庭・地域が一体となって学校教育を支援し、地域ぐるみで子どもを健やかに育てる体制がつくられています。

西宮中学校の学校支援本部は「ともいく」の愛称で呼ばれ、日頃から教育活動に対して様々なご支援をいただいているます。

【支援活動の例】

- 英検・漢検の募集・実施（本校が準会場となります）
- アフタースクール・スタディ（定期考查前の放課後補習教室）
- 土曜授業等のゲストティーチャーや講演会等の講師の紹介
- 学校図書館運営支援
- 学校の美化活動（お花植えボランティアや校門前の掲示板の管理）etc.



《7月の主な行事予定》

- 2日(月) 生徒会朝礼(45分時程×4時間)
- 4日(水) 職員会議
- 5日(木) 東京都学力調査(2学年)
- 9日(月) 全校朝礼
- 10日(火) 職場体験学習(2学年)始
- 12日(木) 職場体験学習(2学年)終
- 13日(金) 避難訓練
漢字検定
- 14日(土) 土曜授業
(ICT公開授業、セーフティ教室)
- 17日(火) 職場体験事後訪問(2学年)
- 18日(水) 保護者会

- 19日(木) 大掃除
- 20日(金) 1学期終業式
- 21日(土) 夏季休業日始
- 23日(月) 三者面談始
夏季パワーアップ教室始
すぎなみ小・中学生未来サミットプレサミット
- 26日(木) 夏季パワーアップ教室終
- 27日(金) 三者面談終



《8月の主な行事予定》

- 27日(月) 夏季休業日終
- 28日(火) 2学期始業式